

2021年10月3日
西日本旅客鉄道株式会社

北陸新幹線車両 W7系の新製投入

当社では、2019年10月の台風19号により被災した北陸新幹線用車両の代替としてW7系を2編成、新製投入いたします。

1. 車両投入計画

投入編成	2021年度
W7系	2編成

2. 投入編成の主な特長

基本的な仕様は既存のW7系と同一ですが、以下のような機能を追加で搭載しています。

- ・ 台車の異常・予兆を検知する台車モニタリング装置や、車両への着雪防止機能を搭載することで、安全・安定性を向上します。
- ・ バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準の改正(2020年10月改正、2021年7月施行)を受け、新幹線の新たなバリアフリー対策として、車いす用フリースペースを導入します。
- ・ 大きな荷物をお持ちのお客様にご利用しやすいよう、荷物置場を増設し、1号車～10号車の客室内及び11号車デッキスペースに設置します。
- ・ 車内が停電した際にも水洗使用可能なトイレを一部号車に設置します。

3. 敦賀延伸に向けて

上記に引き続き、さらに北陸新幹線敦賀延伸に向けて、W7系を11編成、新製投入いたします。

投入編成	2021年度	2022年度	2023年度
W7系	1編成	7編成	3編成

台風被災代替・敦賀延伸に向けた新幹線車両の新製

2019年台風19号により被災した代替2編成（24両）、及び敦賀延伸用11編成（132両）を新製します。

○投入時期 2021年度～2023年度

○主な特徴

基本的な仕様は既存のW7系と同一ですが、以下のような機能を追加で搭載しています。



（既存のW7系）

〔安全性・安定性〕

- ・ 台車の異常・予兆を検知する機能
（台車モニタリング装置）
- ・ 車両への着雪防止対策の機能
（車両床下への雪庇ダミー設置）
（車両ドア部の構造変更）

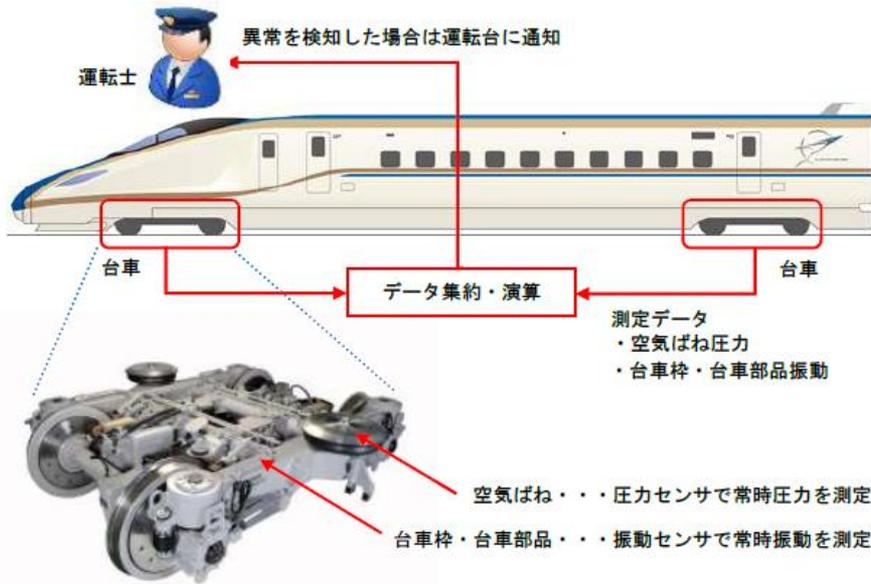
〔バリアフリー〕

- ・ 車椅子用フリースペースの設置
（7号車金沢寄りの車いすスペースを4席へ増加）
（車いすにご乗車のまま、車窓をお楽しみいただけるスペースを2席設置）

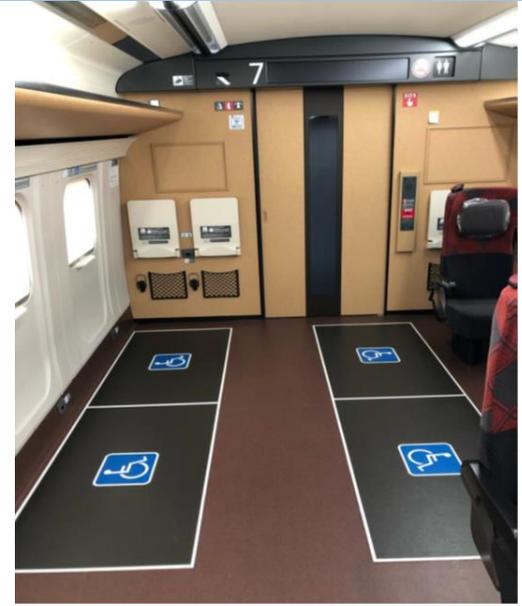
〔CS〕

- ・ 普通車の荷物置場を増設
（1号車～10号車客室内、及び11号車デッキスペースに設置）
- ・ 停電時に水洗使用可能なトイレを設置（一部）

台風被災代替・敦賀延伸に向けた新幹線車両の新製



台車モニタリングシステム



車いすフリースペース



(現行)



(雪庇ダミー)

着雪防止対策 (雪庇ダミー)



荷物置場 (増設：①③⑤⑦⑨号車)